

# メータオ・クリニック支援の会（JAM） 会報メール 第76号 〔2015年8,9月合併号〕

NPO法人メータオ・クリニック支援の会（JAM）支援者の皆様

いつもご支援していただき、誠にありがとうございます。  
JAM 会報メール第76号をお送りします。

JAM は2008年3月に発足されたNGOです。ビルマ／ミャンマーからタイへ貧困や戦火を逃れてきた人々の病院、メータオ・クリニックの活動を支援する目的で設立されました。

支援者の皆様へJAMの最新の活動をほぼ毎月中～下旬ごろ会報メールにて発信いたします。  
今後ともどうぞよろしくお願いたします。

<目次> [ページ]

ミャンマーにおける洪水被害に対する緊急支援のお願い

現地派遣員、鈴木みどり看護師の帰国報告会

グローバルフェスタ 2015 出展決定

メソトマンスリー

国内から

編集後記

次号の予定



## ミャンマーにおける洪水被害に対する緊急支援のお願い

日頃より会員の皆様には厚いご支援ご協力を賜り、誠にありがとうございます。

7月から続いた豪雨によりミャンマー各地で深刻な洪水被害が発生しています。8月13日時点、政府関係者の報告によると、死者は103名、被災者は約130万人に達しています。メソトに隣接するカレン州の州都パアンでも、6000人が被災し、10か所の緊急避難所が設置されました。地方においては、アクセスが困難な地域が多く取り残されています。また、多くの住民の生活の糧である農作物への被害も深刻化しており、被災者の生活を支える長期的な支援の必要性が予想されます。



写真提供: Emergency Assistance and Relief Team (EART)

このような状況を受けて、**メータオ・クリニック含む国境の支援団体は、Emergency Assistance and Relief Team (EART)として支援の窓口を開設しました。**

当会では、彼らの活動に賛同し、日本のみなさまからのご支援を届けるべく支援の窓口を開設いたしました。**いただきましたご支援は、EARTを通じて以下の物資の購入に充てさせていただきます。**

**支援物資はEARTを通じて、主に被害にあったカレン州の人々に届けられます。**

### 支援物資

1. インスタントラーメン、スナック (Instant noodles and dried snacks)
2. 温かなインスタント飲料 (Milo or ovaltine packs -instant hot drinks)
3. ライフジャケット (Life jackets -cost 300 Baht for one person)
4. 衣料品 (Sarong or Longyi -100 baht for one person)
5. 水の除菌・洗浄用の塩素剤 (Chlorine tablets)
6. ORS 経口補水液 (ORS re-hydration fluid)
7. グローブ (Gloves -150 baht for one pack)
8. お米 (Rice)



緊急支援にご賛同いただける方は、下記方法にてご支援をお願いいたします。皆様の格別のご支援・御配慮を賜りますよう、何卒よろしくをお願いいたします。

【受付期間】 平成27年9月30日(水)まで

【お振り込み先】

銀行名：ゆうちょ銀行

◆ゆうちょ銀行からお振込みの場合

口座番号 10140-8960841

◆ゆうちょ銀行以外からお振込みの場合

金融機関コード：9900

支店名：〇一八支店（ゼロイチハチ支店）[支店コード：018]

口座番号：普通 0896084

口座名義：NPO法人メータオ・クリニック支援の会  
(カタカナ) トクヒ) メータオ クリニックシエンノカイ

※お振り込みの際は、**お手数ですが“キンキュウシエン”**とご明記ください。

また、差し支えなければ、お振り込み後に support@japanmaetao.org まで、お名前、ご住所、ご連絡先をメールにてお送り下さい。入金の確認がとれますので大変助かります。

※支援金は、送金手数料を除いた全額を Emergency Assistance and Relief Team (EART) を通じて寄附させていただきます。

【本件に関するご質問・ご意見等の問合せ先】

メータオ・クリニック支援の会 (JAM)

URL：<http://www.japanmaetao.org/>

Email：[support@japanmaetao.org](mailto:support@japanmaetao.org) (担当：前川)

【参考資料】

- Government puts flood death toll at 103, nearly 1.3 million affected/ mizzima news from Myanmar

<http://mizzima.com/news-domestic/government-puts-flood-death-toll-103-nearly-13-million-affected#sthash.waICKJlo.dpuf>

- Burma Floods - 46 Dead, Hundreds of Thousands Affected/ Karen news

<http://karennews.org/2015/08/burma-floods-46-dead-hundreds-of-thousands-affected.html/>

- Heavy flooding destroys 9,500 acres of rice in eastern Burma/ Karen news

<http://karennews.org/2012/08/heavy-flooding-destroys-9500-acres-of-rice-in-eastern-burma.html/>

- Border Based Group Come Together To Help Burma's Flood Victims / Karen news

<http://karennews.org/2015/08/border-based-group-come-together-to-help-myanmars-flood-victims.html/>



- Announcement from Mae Sot Community Based Organizations Network  
<https://www.facebook.com/MaeTaoClinic/posts/973462872676007?fref=nf>

## 現地派遣員、鈴木みどり看護師の帰国報告会

現地派遣員の鈴木みどり看護師の帰国報告会を開催します。  
ぜひ、皆様お誘いあわせの上、お越してください。お待ちしております。

日時：**2015年11月7日(土)午後**

場所：**国立国際医療研究センター病院** 【新宿区戸山1-21-1】  
国際医療協力局 3階 会議室

終了後に懇親会を予定しています。  
詳しい時間、プログラムにつきましては、次回10月号（10月中～下旬発行）の会報をご覧いただくか、10月以降に当会までメールでお問い合わせください。

## グローバルフェスタ 2015 出展決定しました

グローバルフェスタ 2015 への出展が決定しました。  
イベントの中で、jamの活動報告会も予定しています。  
先月号でもご案内させていただきましたが、ボランティアでお手伝いしてくださる方を募集しています。

### 【出展内容(メータオ・クリニック支援の会)】

タイ・ミャンマー国境付近の移民・難民の数は、ミャンマー国内の民主化が進んでも減少にありません。そのような現状のタイ・ミャンマー国境付近の医療状況、メータオ・クリニックの設立経緯・概要、当会の活動報告(院内感染対策・学校保健支援の取り組み)をパネル展示致します。ミャンマーの少数民族の民芸品販売も実施します。

### 【ご注意ください】

・今年から、会場が日比谷公園ではなく

**お台場・センタープロムナード公園**です。

グローバルフェスタ JAPAN2015(入場無料)

日時：**2015年10月3日(土)、4日(日)** 10:00～17:00

場所：**お台場・センタープロムナード公園** (シンボルプロムナード公園内)  
東京都江東区青海1-2



公式HP : <http://gfjapan2015.jp/>

## ☆☆ ボランティア募集のご案内 ☆☆

メータオ・クリニック、タイ・ミャンマー国境付近の医療状況にご関心がある方から、国際協力・NGOの活動に興味があるけど何から始めたらよいかわからないという方(医療従事者以外の方も大募集!)、そしてJAMの活動に賛同していただき、皆で楽しくメータオ・クリニック支援の会のブースを盛り上げてくださる方を募集しています。

グローバルフェスタは2日間ありますが、お時間は調整します。1時間でもかまいません。具体的にお手伝いをお願いしたい内容は、**テント張り、テントたたみ、民芸品販売の商品の陳列、販売(店番のお手伝い)、通りがかった方々へのチラシ配り**です。

ご興味がある方は、

- (1) 氏名
- (2) 住所
- (3) 所属
- (4) 電話番号
- (5) パソコンメールからの連絡がつくメールアドレス
- (6) 3日、4日の中で参加可能な日にちと時間帯

をご記入の上、

当会アドレス "[support@japanmaetao.org](mailto:support@japanmaetao.org)" (担当: 斉藤、伊藤) までお送りください。

メールタイトルは「グローバルフェスタボランティア申込み」とご記入をお願いいたします。ご連絡お待ちしております。

メソトマンスリー

【メソト=鈴木 みどり】



## 最近のメソット

皆様 こんにちは。

### 【移民学校での活動について】

メソット付近には、現在40校の移民学校があります。

JAMではそのうちのひとつ、ホープ校を支援し続けてきました。ホープ校はメソットから約60km離れたポプラ地区の近くに位置しており、電話が繋がらない場所にあります。

現在、約220人の3~10歳の子供達がホープ校で勉強しています。4年前から学校保健の活動にも参加していて、水道も設置され、手洗いの指導も実施しています。今年5月、当団



体を4年間継続してご支援くださった敷島製パン労働組合(PASCO)様も訪問していただきましたので、こちらで紹介させていただきます。



4年前、PASCOの皆様のご支援により、ホープ校にコンクリート建ての校舎が完成しました。雨風を凌げるため、普段の授業ではもちろん、寄宿生は夜はこちらで休むことも出来ます。また、去年は、新しい茅葺き屋根の校舎とその中で使用する机と椅子も完成しました。素晴らしいご支援に子供達も喜んでいきます。PASCOの皆様、本当にありがとうございます。



これまでに、日本からの訪問者様が何度も来てくださいました。ご寄付や手品など、ホープ校から何度も感謝の言葉をいただきました。この場を借りて、御礼申し上げます。皆様のご訪問と暖かいご支援が、経営難の学校の先生達にとって大きな励みになります。今後ともどうぞ宜しくお願い致します。

## 【メータオ・クリニックのスタッフの進学】

今回はメータオ・クリニックの素敵な現地スタッフのひとりをご紹介します。





カレン人のポポレイちゃん(24才)は、クリニックの研修センターで働いています。ミャンマー語は勿論、英語とタイ語が堪能で、クリニックで行われる研修では、英語～ミャンマー語の通訳もしています。

私がメータオ・クリニックに派遣されたばかりの頃、日本語で話しかけてくれたのが彼女です。日本語の歌も少し歌ってくれました。(私は日本では全く聴いたことがありませんでした。Kokoro kokoro と言っていて、『心の友』という曲が原曲らしかったです。)

彼女はミャンマーで高校を卒業した後、タイに入り、仕事を探しました。バンコクでは約2年間、日本料理店で働く間に日本語を少しずつ覚えて、いつか日本で勉強したい、大学に行きたいと思うようになりました。しかし、生活の為には仕事も必要でした。更に、大学入学の資格を取る為には、一年間勉強して、認定試験 GED(General Educational Development) にパスしなければいけませんでした。

奨学金を得て、外国の大学に行く方法を探して、クリニックで働きながら勉強を続けました。そして今年、見事試験に合格しました。

奨学金は留学先の各大学が出してくれるそうですが、数が限られていて、試験に合格した生徒全員が奨学金を得て大学に行ける訳ではありません。

その中で、彼女は今年からバングラデシュの大学で奨学金を受けて、公衆衛生を学ぶことになりました。8月にはメーソットを離れてバングラデシュに旅立ちます。

後で知ったのですが、彼女の指導教官が偶然にも私のお隣さんで、彼は「(奨学金を受ける生徒を決めるには)生徒の成績だけでなく姿勢を重視する」と言っていました。

バングラデシュで大学を卒業した後は、日本で修士を取りたい、そして日本で働きたいと、明るく話してくれました。

努力を続けるポポレイちゃんの夢が叶いますように、これからも彼女を応援します。

## 国内から

### 病院で働きながら、“上流”に思いを馳せる



【東京＝渡邊 稔之】

私が会報に記事を書かせていただくのは3回目で、1回目は私がJAMに関わり始めた直後の2011年12月、2回目は2013年10月でした。4年という月日はあっという間で、その間



ミャンマー国内や国境付近の状況も大きく変わり、JAMからは3人の現地派遣員が派遣され、今回4人目が派遣されようとしています。私自身も、その間に医学部を卒業し、医師として働き始めて1年半になろうとしています。

現在私が働いているのは、いわゆる都会の大病院であり、またJAMの現地派遣員も多くがやはり以前は大病院で働いていました。病棟業務は基本的に毎日次々に入院してくる患者さんの治療や手術、ケア等を行い、(基本的には)来た時より良くなっていただいで帰る、という繰り返しです。毎日楽しく、とてもやりがいのある仕事ですが、退院間近の患者さんとお話をしながら、「入院中は理想的な生活をしているけれど、退院して独り暮らしに戻ると、また元の生活に戻り、また再発を繰り返してしまうのではないか」というようなことを漠然と感じる機会が幾度かありました。

また、私は月に何度かは救急外来の当番をし、急に具合が悪くなった患者さんに対して、応急処置、救命処置を行っています。そこで私が感じたことは、「どうしてここまで重症になる前に予防できなかったのだろうか」ということでした。

さて、以前「命の格差は止められるか」というハーバード公衆衛生大学院の教授であるイチロー・カワチ先生の本を少しだけ読みました。その本にとっても印象的な比喩があったので、引用します。

「岸辺を歩いていると、助けて！という声が聞こえます。誰かが溺れかけているのです。そこで私は飛び込み、その人を岸に引きずりあげます。心臓マッサージをして、(中略)一命をとりとめてホッとするのもつかの間。また助けを呼ぶ声が聞こえるのです。(中略)気がつくと私は常に川に飛び込んで、人の命を救ってばかりいるのですが、一体誰が上流でこれだけの人を川に突き落としているのか、見に行く時間が一切ないのです」

我々医療従事者の大部分は、様々な規模の病院にいます。そして毎日、いわば「流れてくる人を救助」しています。もちろん、それが医療従事者の大きな任務であり、そのために各々が日々研鑽し、一生をかけて専門性を高めています。

一方、「上流で川に人を突き落としている悪い奴」と対峙するには、病院で目の前にいる一人の患者さんを診察、治療、ケアしたりするのはまた違った考え方、取り組み方が必要です。なぜなら、一般市民の方の生活の大部分は、家庭、職場、学校、その他地域コミュニティーであり、「病院外」だからです。病院からの視線ではなく、病院を含めた地域コミュニティーから患者さんの生活を考える必要があるからです。「上流で川に人を突き落としている悪い奴」は、おそらく市民の方の日々の生活に隠れています。生活習慣かもしれませんし、職場でのストレスかもしれません。そして「上流で川に人を突き落としている悪い奴」をどうにかすることは、すなわち病気の「予防」と同義だと思います。

このように、少し離れた視点から人間の「集団」の健康について考える学問は、公衆衛生学(public health→公共の健康)と呼ばれており、それだけで一つの大学院が出来るような非常に広大な学問分野ですが、日本ではまだまだ認知度が低いのが実情だと思います。医療従事者全員が上流に取り組む必要はありませんが、もう少し認知度が上がるといいのになあ…と思っています。

私はメーソットのような途上国の地方都市に1週間以上は滞在したことがないため、実際に現地派遣員がどのように感じているのかは伝聞でしか知り得ません。しかし、派遣員の取り組みは、一医療者としてメータオ・クリニックで個々の患者さんを診るというよりは、クリニックを含めた地域コミュニティーにおいて、健康問題の背後にある諸々の問題に取り組んでいくという業務の割合が大きいように思います。まさに公衆衛生学の視点から格闘する毎日のように思います。

私自身、将来どこで働くことになるのかはわかりませんが、上流を見るということを忘れ





ないようにしながら、下流で流れてくる人を助けるための専門性も身につけるために、もう少し日本で頑張っていこうと思っています。

## 編集後記

夏ってこんなに暑かったっけ?と思うほど、暑い日々が続きますが、皆様いかがおすごでしょうか。

あまり目立つニュースとして日本では取り上げられていませんが、ミャンマー各地で洪水による被害が出ています。メータオクリニックがあるメソトに隣接するカレン州の州都パアンでも、6000人が被災し、10か所の緊急避難所が設置されました。お米の収穫の直前の時期だったのに水田も被害にあっているのが、今後、コメ不足にもなりそうです。

今回は、緊急支援のお願いも掲載させていただきました。EARTは国境の支援団体が集まった緊急支援チームみたいなのでメータオクリニックや他団体から集まった寄付はここに集まり、彼らのアレンジでカレン州へ物資が届けられます。JAMはこのチームのメンバーになったわけではなく、日本からの寄附を集めるという形で協力しています。

クリニック自体は洪水被害にあっていませんが、クリニック関係者の多くが個人で寄附を集めたり、EARTを通じて、支援活動をしています。



9月から派遣予定の神谷看護師が最近渡航の報告や壮行会などでたくさん人に会う機会があり、多くの方に募金をしていただきました。現在、ご友人が経営されているお店にも募金箱をおかせていただいています。ご協力していただき、本当にありがとうございます。

取り急ぎ、JAMからEARTに10,000パーツを寄付しました。この10,000パーツは、被害直後に必要となるものへの支援、今回は、その後少し長期的に必要なになってくるだろうものへの支援として考えています。現地の皆さんが今までのような生活に早く戻れますように。

## 次号の予定

今月は合併号とさせていただきますため、次号は、10月中～下旬ごろ配信の予定です。ホームページは、随時更新していきますのでぜひ、お時間があるときにご覧ください。

メータオ・クリニック支援の会(JAM)の活動を支援して下さい、心より御礼を申し上げます。JAMの活動は皆さまからの温かい寄付によって支えられ、院内感染予防活動、移民学校での啓発活動など様々なプロジェクト・設備投資を実施しています。支援の輪が広がっていき、どうぞ当会のFacebookもフォローして「いいね」や「リツイート」で応援してください。

当会では、都度の支援金の受け入れとともに、「1日10円からの支援」を基本とし、継続的なご支援をお願いする賛助会員制度を用意しております。

【一般会員】3,650円/年      【学生会員】1,825円/年      【法人会員】36,500円/年  
当会ホームページにアクセスしていただき、お申し込みフォームから会員登録のうえ、指定の口



